

土木学会昭和51年度全国大会

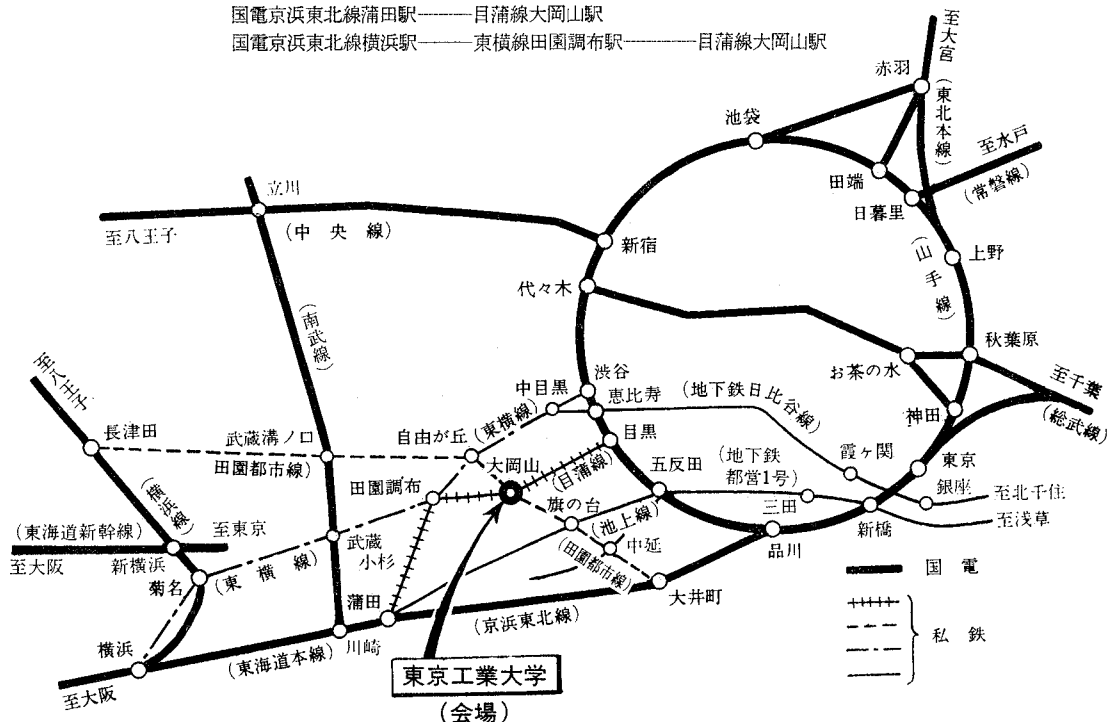
行事・会場案内

行 事	日 時	会 場	備 考
特 別 講 演 会	10月8日(金) 10:00~12:00	東 京 工 業 大 学	◎東京工業大学 電話(03)726-1111 東京都目黒区大岡山2の12の1
第 31 回 年 次 学 術 講 演 会	10月8日(金) 13:00~16:00 10月9日(土) 9:00~16:00 10月10日(日) 9:00~16:00		
部門別講演および 研究討論会	10月8日(金) 16:15~17:45 10月9日(土) 16:15~		
映 画 会	10月8日(金) 13:00~16:00 10月9日(土) 10:00~16:00 10月10日(日) 13:00~16:00		
懇 親 会	10月8日(金) 18:00~20:00	東京工業大学新職員食堂2階	
見 学 会	10月11日(月) 9:20~17:30	日本鋼管京浜製鉄所・首都高速湾岸線沈埋トンネル・鉄道公団京葉線トンネル	◎見学会集合場所 詳細は追って参加者に連絡致します。

会場交通経路案内

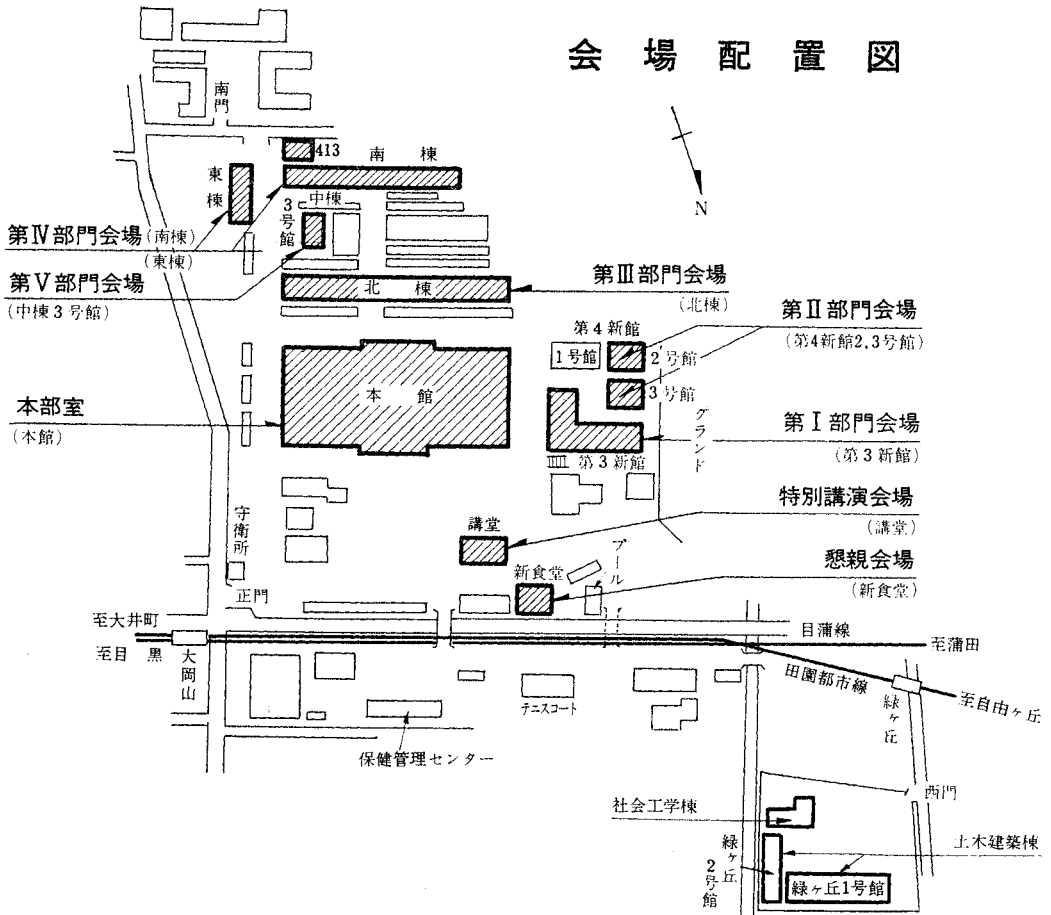
会場に来る主要な経路は、いずれも東京急行電鉄目蒲線または同電鉄田園都市線の大岡山駅で下車。

国電山手線目黒駅	目蒲線大岡山駅	
国電山手線渋谷駅	東横線自由が丘駅	田園都市線大岡山駅
国電京浜東北線大井町駅	田園都市線大岡山駅	
国電京浜東北線蒲田駅	目蒲線大岡山駅	
国電京浜東北線横浜駅	東横線田園調布駅	目蒲線大岡山駅

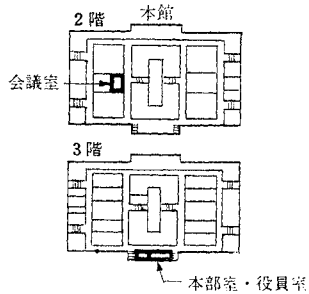


◎ 会場ならびに付近には駐車場はまったくありません。必ず電車を御利用下さい ◎

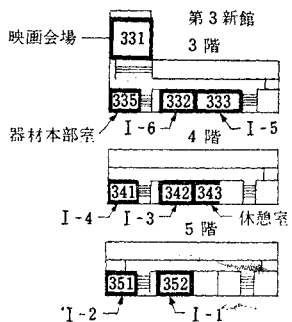
会場配置図



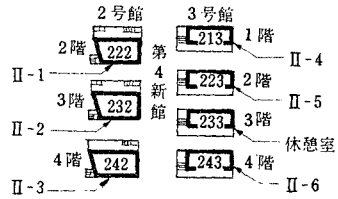
本部



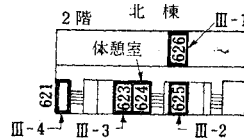
第 I 部門



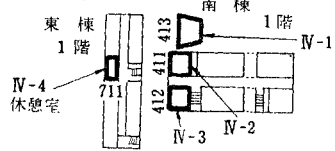
第Ⅱ部門



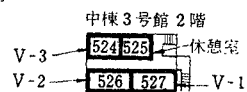
第Ⅲ部門



第IV部門



第V部門



1 特別講演会 (2 題)

会場：東京工業大学講堂

月 日	時 刻	講 演 題 目	講 演 者
10 月 8 日 (金)	10:00~11:00	学校における土木技術教育	土木学会会長 最上 武雄
	11:00~12:00	お雇い外国人と日本の土木技術	東京大学教授 村松貞次郎 生産技術研究所

本年度は開会時間を 1 時間繰り下げました。是非ご出席下さい。

2 第 31 回 年 次 学 術 講 演 会

研究発表 (1 286 題)

会場：東京工業大学

月 日	時 刻	部 門	講 演 数
10 月 8 日 (金)	13:00~16:00	第 I 部門	第 II 部門
10 月 9 日 (土)	9:00~16:00	第 III 部門	第 IV 部門
10 月 10 日 (日)	9:00~16:00	第 V 部門	
		321 題	324 題
		259 題	197 題
			185 題

学術講演会講演要領——講演者への御注意——

学術講演会での講演については、下記要領を御参照のうえ、座長の指示にしたがってください。

(1) 本年度は、昨年度までの司会者制から座長制に変わりました。講演会の運営は、講演発表時間・方法、討論時間・方法の決定も含め、各会場の座長に一任されていますので、講演順序・時間については座長の指示により、これを厳守して下さい。ただし、最少 7 分間の講演時間は確保されます。また、事前に座長より資料提出等を求められる場合がありますが、その指示にしたがってください。座長名は本誌に掲載（プログラム巻末）されています。

(2) 講演に先立ち、座長との打合せの会合をその講演会場で行います。会合時間は、講演が午前の場合は 8 時 45 分～9 時、講演が午後の場合は 12 時 45 分～13 時のいずれも講演開始直前の 15 分間とします。なお、欠席された場合には講演をお断りすることがあります。

(3) O・H・P の予備が第 3 新館 335 教室および東棟 711 教室に備えてありますので、練習機器として自由に御使用下さい。なお、O・H・P の操作は講演者が御自身で行うことになっています。

また、本年度はスライドの使用をお断りしておりますが、打合会で座長がその使用を必要と認めた場合は第 3 新館 335 教室で貸し出します。しかし、この場合も講演者自身で搬入・操作・返却をしていただきます。

3 部門別講演および研究討論会

会場：東京工業大学

月 日・時刻	会 場	題 目	座長および話題提供者 (司会および講演者)
10 月 8 日 (金) 16:15~17:45	第 4 新館 2 号館 222	第 10 回国際構造工学会議での話題	司会者：前田幸雄 (阪大教授) 講演者：平井 敦 (東大名誉教授) 国分正胤 (東大名誉教授・武蔵工大教授) 伊藤 学 (東大教授)
		主旨：本年 9 月初旬に開催される国際構造工学会の第 10 回会議の主要な話題を中心に、構造工学分野での現在の問題点について述べ、同協会の活動について紹介する。	
同	第 4 新館 2 号館 232	確率統計水文学の展望 (理論と適用例)	座 長：岸 力 (北大教授) 話 題：高橋 裕 (東大教授) 提供者：室田 明 (阪大教授) 日野幹雄 (東工大教授) 高埴琢馬 (京大教授)
		主旨：① 確率統計水文学の位置づけ、② 水文統計量 (降雨・流出量等) の確率分布、相関分析、因子分析、③ 水文システムの特性と予測、④ 水文学と情報理論	

10月8日(金) 16:15~17:45	第4新館 2号館 242	フィルダムの堤体設計上の諸問題	司会者：浅川美利（日大教授） 講演者：河上房義（東北大名誉教授・宮城高専校長）
		主旨：古い歴史のあるフィルダムの堤体材料の選択や構造設計は、最近の土質力学、施工方法、計算方法の進歩に伴って著しく変革しつつある。その経過について展望し、それらに関する若干の問題点について述べる。	
同	中棟 3号館 526	土木事業と緑の創造	座長：鈴木忠義（東工大教授） 話題：新田伸三（九州芸工大教授） 提供者：齊木三郎（道路公団技術第2課長）
		主旨：土木事業は緑を喪失させる危険性を有するが、同時に緑の濃き空間をつくり出す最大の機会ともなりうる。本研究討論会では、土木事業に関連する緑環境の計画や設計についてその基本的方向と実際的方法を実例を示しつつ討論する。	
10月9日(土) 16:15~	第4新館 2号館 222	これからの土木教育を考える ーカリキュラムを中心としてー (大学土木教育委員会)	座長：丹羽義次（京大教授、大学土木教育委員会委員長） 話題：田中茂（神戸大教授） 提供者：森田定市（東海大教授） 菅原操（国鉄外務部調査役）
		主旨：土木技術の多様化、社会状況および学生の価値観の変化などに伴い、カリキュラムの編成に関して問題意識を持っている大学が多く存在する。個々の大学が抱えている問題点はおのずから異なり、カリキュラムの理念もまた画一的でないのが本来の姿であるが、それぞれの問題解決の一助とするために、一堂に会し討議する機会を持つことを企画した。	
同	第4新館 2号館 232	橋梁と景観	座長：田原保二（日大教授） 話題：柳宗理（柳工業デザイン研究所所長） 提供者：中村良夫（東工大助教授） 関淳（首都高速道路公団）
		主旨：土木学会構造工学委員会に“橋の景観とその形態および色彩に関する小委員会”が発足したのを機会に、橋梁景観設計に関する基本的考え方を多角的に討論しようとするものである。話題は工業デザイン、景観工学、橋梁工学の三方面的の専門家から提供される。	
同	第4新館 2号館 242	コンクリート工学の現在と将来	司会者：岩崎訓明（東洋大教授） 講演者：水野高明（九大名誉教授、間組顧問）
		主旨：近年のコンクリート工学の動向とその将来性を、特に海洋開発に関連する深海構造物ならびに超低温LNGタンクへのコンクリートの利用に焦点をおいて述べる。その他TCT架設工法や振動ローラによるマスコンクリートの締固め工法等の最近の話題にも触れる。	

4 懇 親 会

会場：東京工業大学新職員食堂2階

月	日	時 刻	参加費	方 式
10月8日(金)		18:00~20:00	2000円	立食パーティー

参加申込み：本号添付の申込書に参加費2000円を添えて、8月25日(水)までにお申込み下さい。なお、受付は申込み順とし、予定人員に達した場合は締め切らせていただき、その後の申込みについては参加費を返金いたします。当日欠席の場合は参加費を返金いたしません。

自動車の利用はできません——会場ならびに付近には駐車スペースはまったくありませんので、必ず電車を利用して下さい。

大会プログラムは有料です——1部300円の有料で頒布します。会場でお買求めになるか、学会誌7月号を御持参下さい。

5 映画会

会場：東京工業大学第3新館 3F 331教室

10月8日(金) 13:00~16:00 防災

上映作品	内容
関東地方の水害記録 日本の砂防地すべり 地震予知・地下水と岩石 雪に挑む	昭和22年から49年までの関東地方の主な水害記録。 土石流による災害の実態と代表的な砂防施設の効果状況を収録し、砂防事業の必要性を説く。 大和川(大阪、奈良)に面する亀の瀬の地すべりの記録。 地盤隆起の原因をたずねて、地震のメカニズムを追及。 上越新幹線の雪害対策の一環として新潟県浦佐において行っている、散水消雪試験の概要を紹介する。

10月9日(土) 10:00~12:00 土木の周辺

日本のフロンティア 多摩川流域下水道 水のある砂漠イラン 森林を育てる	対空標識の設置作業から航空写真撮影、図化機による原図作成過程と1/25,000の地図の作成過程を紹介する。 多摩川の汚染状況より多摩川流域下水道の必要性、効用を解説するとともに、下水道工事の工法をも紹介したもの。 イランの「水との闘い」の歴史。 樹木の性質を知り、その生長につくす営林署の配慮。
--	--

10月9日(土) 13:00~16:00 建設の記録

港大橋 大平揚水発電所 多摩川をわたる沈埋トンネル 有楽町線一掘進10900m S L バイール 青函トンネル	南港連絡橋(港大橋—土木学会田中賞受賞)の建設過程を、特に軟弱地盤、船舶航行に対する工法等に重点をおき紹介する。 揚水発電所建設の記録に、山の子の成長をおりまぜながら紹介する。 京葉線の多摩川河口部横断工事の紹介。 地下鉄・有楽町線(池袋—銀座1丁目)建設記録 杭表面にアスファルトを塗布し、ネガティブフリクションを低減させる工法で、日本鋼管扇島建設工事に全面的に使用した。 さまざまな困難に遭遇しながら掘削を進めている青函トンネル工事の概要を紹介する。日本産業映画奨励賞受賞作品。
--	--

10月10日(日) 13:00~16:00 土木の未来

都市の再開発 浮上式鉄道の開発 本四架橋の設計調査 恵みの湖 新幹線の騒音・振動対策 世界の都市交通	新しい街づくりの方法として都市の再開発の事例を紹介し再開発の意義、仕組み、過程を紹介する。 時速500kmの超高速鉄道を目指す超電導磁気浮上式リニアモーターカーの開発の実態を紹介する。 本四架橋の設計調査を技術的視点から解説。 近畿圏の水事情を解説し、その中で大きなウェイトを占める琵琶湖の現況を紹介するとともに今後の開発内容を紹介する。 新幹線列車走行に伴い発生する騒音・振動の対策の概要とその効果を紹介する。 都市交通という世界共通の課題に対して欧米各国の都市に視る実例を紹介し、その目的、考え方をわかりやすく解説する。
---	---

6 見学会

日時：10月11日(月) 9:20~17:30

見学場所：日本鋼管(株)京浜製鉄所(扇島)建設工事・首都高速道路公団湾岸線沈埋トンネル・日本鉄道建設公団京葉線トンネル工事

行程：9:30 東京駅前発—10:30 扇島現場着、京浜港の概要説明、製鉄所見学、映画—13:30 同発—14:00 首都高速現場着、見学—15:20 鉄道公団現場着、見学—16:30 同発—17:30 東京駅前着
解散 ◎参加者には、別途詳細をお知らせいたします。

定員：100名

参加費：2,000円(バス代、昼食代を含む)

参加申込み：本号添付の申込書に参加費2,000円を添えて、8月25日(水)までにお申込み下さい。なお、受付は申込み順とし、定員に達した場合は締め切ります。当日欠席の場合は参加費を返金いたしません。
また、参加者が30名に満たない場合は中止いたします。この場合は参加費は返金いたします。

7 第31回年次学術講演会講演概要集

部 門	部 門 別 内 容	題数	頁数	頒 価
A	第 I 部 応用力学, 構造力学, 構造工学, 橋梁など	321	573	2 600 円
	第 II 部 水理学, 水文学, 河川工学, 海岸工学, 港湾工学, 発電水力, 衛生工学など	324	611	2 800 円
	第 III 部 土質力学, 基礎工学, 岩盤力学など	259	483	2 200 円
	第 IV 部 道路工学, 鉄道工学, 交通計画, 都市計画および地域計画, 測量など	197	354	1 700 円
	第 V 部 土木材料, 土木施工法, コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学など	185	336	1 600 円
B	研究討論会資料 部門別講演会, 研究討論会の話題内容の要約を集録	未定		無 料
合 計		1 286	2 357	10 900 円

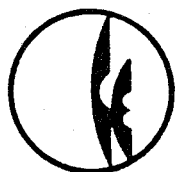
購入申込み: 本号添付の申込書(巻頭)に代金を添えて 8 月 25 日(水)までに全国大会実行委員会までお申込み下さい。期限内申込み限り送料は学会負担。概要集は予約以外に余部をあまり作りません。会場で品切れになることが多いため事前に申込んで下さい。

8 申 込 先

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内

土木学会全国大会実行委員会 連絡先 TEL (03) 355-3441 内線 31

●プログラムは次ページ以降に掲載してあります●



計画及び設計

道路・橋梁・鉄道・港湾・河川・上下水道
都市計画・宅地造成・工場施設
土質及び基礎

構造物診断及びモデルアナリシス

応力・振動測定・実験解析・模型解析
調査及び測量・施工管理

東洋技研コンサルタント株式会社

本 社 大阪市天王寺区悲田院町86番地(白鳩ビル)
電話 大阪(771)4467 (779)5123~7
東京事務所 東京都港区芝神谷町15番地(須賀ビル)
電話 東京(434)3668
札幌事務所 札幌市中央区北3条西28丁目375番地(三栄ビル)
電話 札幌(631)5331~2